



決算説明資料

2023年3月期 年度決算 (22/4-23/3)

2023年4月27日

1	全体サマリー	<ul style="list-style-type: none">全体サマリー決算のポイント：FY22実績
2	実績	<ul style="list-style-type: none">実績 - YoY, QoQ
3	セグメント別損益	<ul style="list-style-type: none">デジタルソリューション事業<ul style="list-style-type: none">主要製品売上推移ライフサイエンス事業合成樹脂事業
4	通期予想	<ul style="list-style-type: none">FY23実績予想 ポイントFY23通期業績予想経営環境（FY23の見通し）業績見通しに関する市場前提
5	トピックス	<ul style="list-style-type: none">半導体材料事業：固定費推移ライフサイエンス事業：KBI新工場 生産計画の進捗
6	中期経営方針	<ul style="list-style-type: none">中期経営方針 - 進捗
	Appendix	<ul style="list-style-type: none">FY22実績 vs 計画連結損益計算書連結財政状態計算書連結CF計算書四半期推移IRカレンダー

【表記注記】

デジタルソリューション事業	: DS
半導体材料	: SEMI
ディスプレイ材料	: DISP
エッジコンピューティング	: EC
ライフサイエンス事業	: LS
合成樹脂事業	: PLA

1. 全体サマリー

半導体の需要調整局面で収益性改善策を推進し、 FY23の大幅利益回復及びFY24の中計達成を見込む。

FY22実績 YoY 増収減益

- DISP、PLAの需要環境悪化及びFY21特殊要因の影響による減益。SEMI^{*1}/LSは増収増益。
- SEMIの事業構造改革費用を業績に反映（ノンコア）。

FY23業績予想 YoY 増収増益

- 大幅な利益回復を見込む。
- LSが牽引。SEMIは対面市場はマイナス成長を想定。FY24のV字回復の弾込め。

戦略的な取り組み

- SEMIは需要回復期に向け構造改革、シェア拡大、先行投資へ集中的に取り組む。
- LSはFY23にKBI新工場のフル稼働と、収益改善プロジェクト。M&AによるCROの新事業取り込み。
- 長期的な成長機会の確保とFY24の中計達成に向け、事業構造改革、コスト削減を含むオペレーショナルエクセレンスと利益率改善の取り組みを推進する。

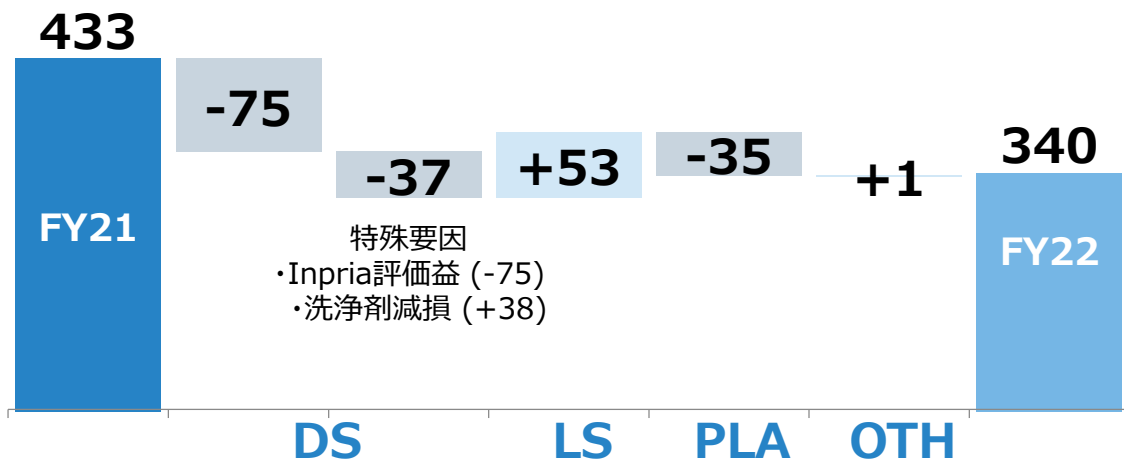
*1FY21特殊要因(Inpria評価益+75億円、米国洗浄剤工場の減損-38億円)を除く。

※中期経営方針（中計）はP16、17に記載

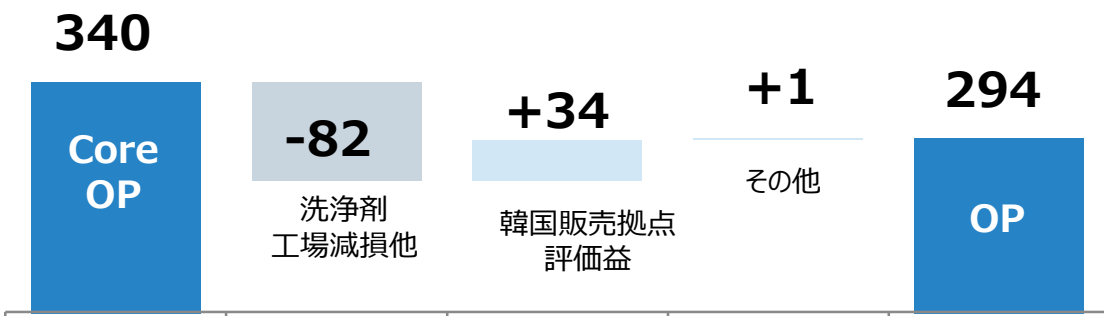
1. 決算のポイント：FY22実績

FY22 コア営業利益 YoY(億円)

FY22 Act: 売上 4,089億円、コアOP 340億円



コア営業利益から営業利益までの調整 (億円)



DISP、PLAの減益及び特殊要因で減益。SEMI、LSは増益。

デジタルソリューション事業	
SEMI	<ul style="list-style-type: none"> 下期に顧客在庫調整による減速も通期で増収増益。 EUV/MORの販売拡大。先行投資の拡大。
DISP/EC	<ul style="list-style-type: none"> 市況の大幅悪化による減収減益。10月より回復基調となる。 スマホ市場の低迷。ECのシェア拡大は達成。
ライフサイエンス事業	
	<ul style="list-style-type: none"> MBL抗原検査キットの好調。 KBIは新工場が下期に商業生産開始。4Qまでに13バッチ生産完了。
合成樹脂事業	
	<ul style="list-style-type: none"> 自動車市場の回復遅れ。原料、燃料価格の高騰の影響。

SEMIの事業構造改革の業績反映

洗浄剤	<ul style="list-style-type: none"> 事業環境悪化による収益見通しの低下に伴い、米工場の簿価をほぼゼロまで減損。 米国のR&D拠点の閉鎖を含む大幅な規模縮小を実施。 新規材料としての参入成果は出ており戦略を再構築する。
韓国販売拠点	<ul style="list-style-type: none"> 韓国の商社機能の内部取込に伴う評価益の計上。 韓国顧客向け販売及び技術サービスの大幅な強化。 台湾及び中国の現地機能強化も併せて推進する計画。

2. 実績 – YoY, QoQ

YoY 増収減益。決算のポイントの通り。

QoQ 減収減益。SEMIは顧客の大幅な在庫調整の影響。LSは抗原検査キットの販売タイミング差。その他は主に季節要因。

(億円)

		FY21	FY22	YoY	22Q3	22Q4	QoQ
連結	売上収益	3,410	4,089	+20%	1,157	959	-17%
	コア営業利益	433	340	-21%	146	25	-83%
	営業利益	438	294	-33%	145	-29	-
	親会社所有者帰属利益	373	158	-58%	48	-38	-
デジタルソリューション	売上収益	1,650	1,704	+3%	445	354	-20%
	コア営業利益	390	278	-29%	82	11	-87%
	(FY21の特殊要因を除く コア営業利益) *1	353	278	-21%	82	11	-87%
ライフサイエンス	売上収益	725	1,265	+75%	416	334	-20%
	コア営業利益	32	84	+167%	60	18	-71%
合成樹脂	売上収益	906	958	+6%	266	236	-11%
	コア営業利益	53	19	-65%	14	6	-59%
その他・調整額	売上収益	129	162	+25%	30	36	+18%
	コア営業利益	-42	-41	-	-10	-9	-
Exchange rate (USD/JPY)		112	135	+21%	142	132	-7%

	YoY	QoQ
連結	増収減益	減収減益
DS	増収減益	減収減益
SEMI *1	増収増益	減収減益
DISP	減収減益	減収減益
EDGE	減収減益	減収減益
LS	増収増益	減収減益
PLA	増収減益	減収減益
OTH	増収増益	増収増益

*1 FY21特殊要因 (Inpria評価益+75億円、米国洗浄剤工場の減損-38億円)を除く。

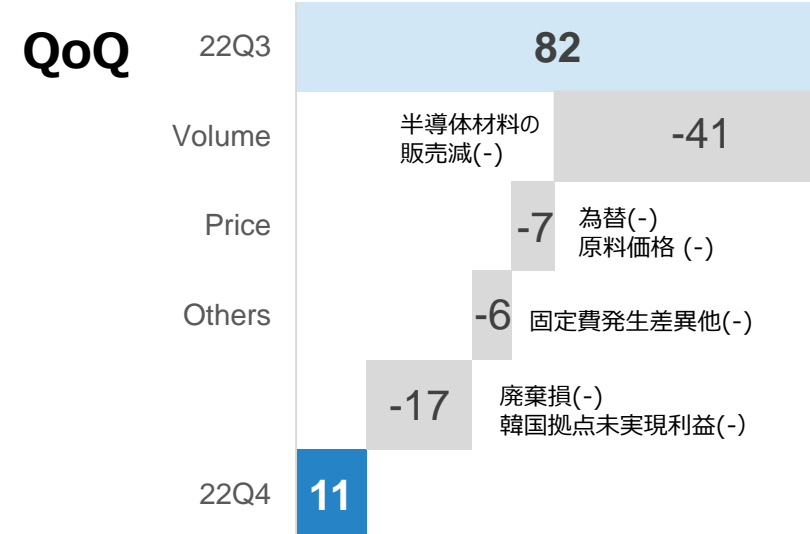
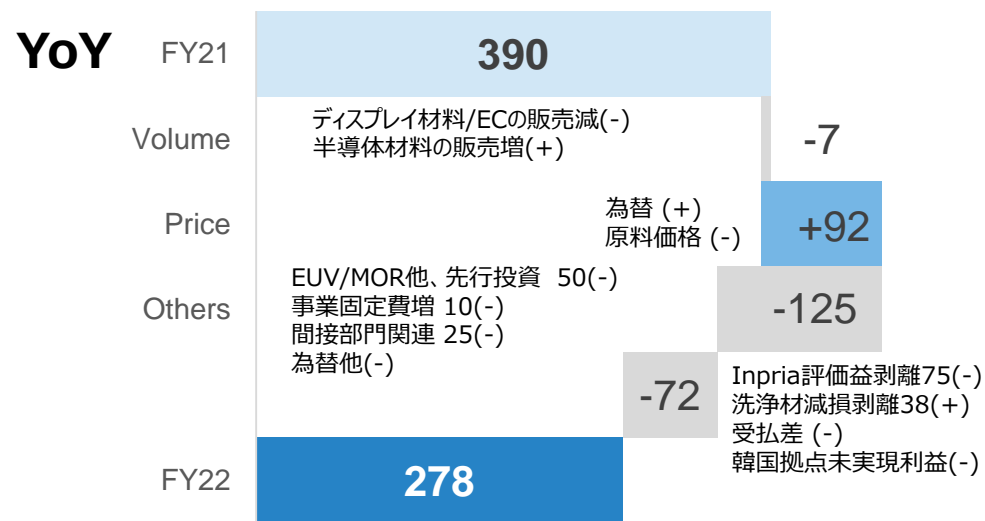
※ 親会社所有者帰属利益を除き継続事業のみ表示

3.セグメント別損益：デジタルソリューション事業

	FY21	FY22	YoY	YoY (CER)*	22Q3	22Q4	QoQ	QoQ (CER)*
売上収益	1,650	1,704	+3%	-6%	445	354	-20%	-18%
半導体材料	1,103	1,264	+15%	+2%	330	252	-24%	-20%
ディスプレイ材料	459	366	-20%	-25%	96	86	-11%	-9%
エッジコンピューティング	88	75	-16%	-16%	19	16	-16%	-16%
コア営業利益	390	278	-29%	-57%	82	11	-87%	-76%
コア営業利益率	23.6%	16.3%			18.4%	3.1%		
Exchange rate (USD/JPY)	112	135	+21%	0%	142	132	-7%	0%

(億円)

コア営業利益差異分析(億円)



*MOR:メタルオキサイドレジスト

*参考値:CER(Constant Exchange Rate/恒常為替レート、為替影響を除いたもの。)

3. デジタルソリューション事業：主要製品売上推移



		YoY ytd	QoQ
半導体材料	EUV	+55%強	+30%強
	ArF	+15%程度	-20%強
	多層材料	+10%程度	-30%弱
	その他リソグラフィ材料	+20%程度	-15%強
	CMP材料	+20%強	-20%弱
	洗浄剤	+30%程度	-55%強
	実装材料	微減	-25%程度
ディスプレイ材料	配向膜	-15%程度	-20%程度
	絶縁膜	-15%弱	+15%強
	着色レジスト	-65%程度	-35%弱
	OLED材料	-5%程度	微減
エッジコンピューティング	ARTON	-15%程度	-15%強

3.セグメント別損益：ライフサイエンス事業



(億円)

	FY21	FY22	YoY	YoY (CER)*	22Q3	22Q4	QoQ	QoQ (CER)*
売上収益	725	1,265	+75%	+58%	416	334	-20%	-16%
コア営業利益	32	84	+167%	+184%	60	18	-71%	-82%
コア営業利益率	4.4%	6.7%			14.4%	5.3%		
Exchange rate (USD/JPY)	112	135	+21%	0%	142	132	-7%	0%

コア営業利益差異分析

YoY

	売上収益	コア営業利益
Total	+75%	+167%
CDMO	+50%程度	減益
CRO	+25%弱	前期並み
BPM	+15%程度	減益
IVD	+200%程度	増益

QoQ

	売上収益	コア営業利益
Total	-20%	-71%
CDMO	+5%程度	増益
CRO	-20%程度	減益
BPM	-15%程度	減益
IVD	-35%程度	減益

CDMO: バイオ医薬品の開発・製造受託
CRO: 医薬品の開発受託

BPM: バイオプロセス材料
IVD: 診断試薬材料

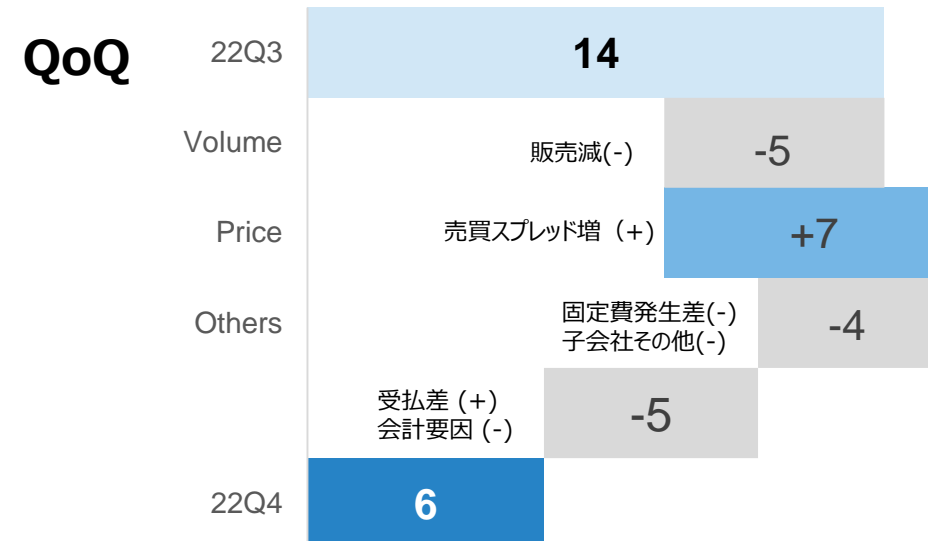
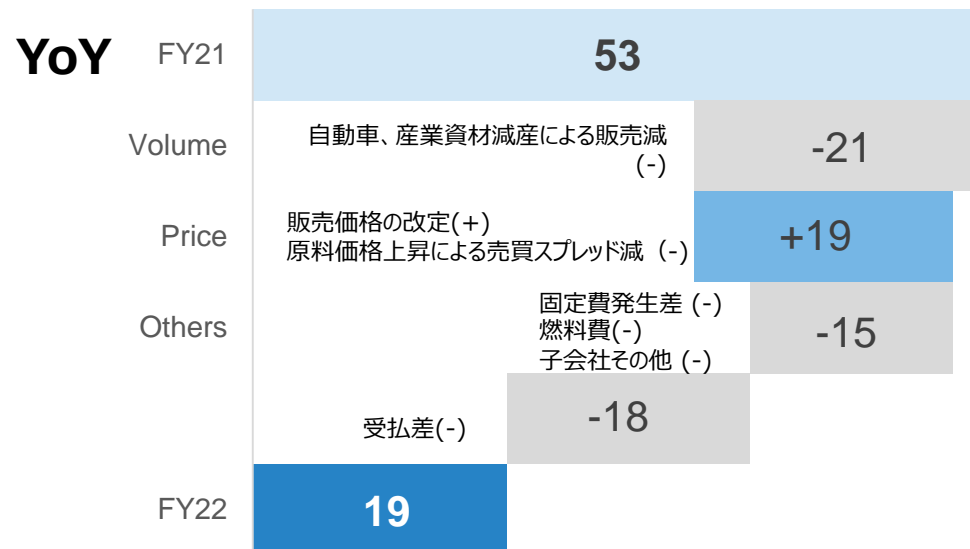
*参考値: CER(Constant Exchange Rate/恒常為替レート、為替影響を除いたもの。)

3.セグメント別損益：合成樹脂事業

(億円)

	FY21	FY22	YoY	YoY (CER)*	22Q3	22Q4	QoQ	QoQ (CER)*
売上収益	906	958	+6%	+0%	266	236	-11%	-10%
コア営業利益	53	19	-65%	-65%	14	6	-59%	-59%
コア営業利益率	5.9%	1.9%			5.2%	2.4%		
Exchange rate (USD/JPY)	112	135	+21%	0%	142	132	-7%	0%

コア営業利益差異分析(億円)

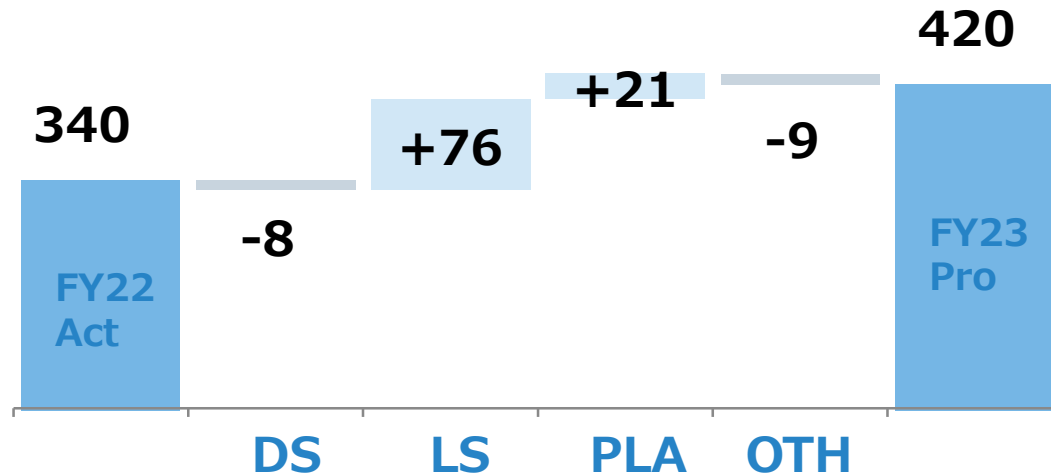


*参考値:CER(Constant Exchange Rate/恒常為替レート、為替影響を除いたもの。)

4.FY23 通期業績予想 ポイント

FY22 vs FY23 業績予想差異(億円)

FY23 Pro: 売上 4,420億円、コアOP 420億円



大幅な利益回復。 LSが牽引。DSはFY24のV字回復への弾込め。

DS事業

- SEMI
 - 売上ほぼフラット、投資増による減益
 - 対面市場は下期回復も、通期はマイナス成長を前提とする。
 - FY24へ向けた準備（構造改革、EUV/MOR投資、アジア強化）
 - 主要材料のシェアは安定的に推移。先端分野でのシェア拡大。
- DISP/EC
 - 増収増益
 - FPDパネル市場は安定した回復を見込む。
 - 光配向膜、OLED材料のシェア拡大を折り込む。
 - ECのシェア拡大を折り込む。

LS事業

- KBIは下期に向け増益拡大。新工場はFY23後半にフル生産。FY24にOP率20%達成へ向け改革プロジェクトを開始した。
- MBL抗原検査キットは受注確定分を折り込む。
- CROはM&Aによりバイオバンク事業を新たに取り込んだ。

PLA事業

- 自動車市場の回復を見込む。
- 売買スプレッドは改善（販売価格改定）

4.FY23 通期業績予想



<2023年4月27日>

(億円)

		FY22 Act	FY23 Pro	FY22 vs FY23 Pro YoY
連結	売上収益	4,089	4,420	+8%
	コア営業利益	340	420	+23%
	営業利益	294	420	+43%
	親会社所有者帰属利益	158	250	+58%
デジタルソリューション	売上収益	1,704	1,750	+3%
	半導体材料	1,264	1,260	-0%
	ディスプレイ材料	366	400	+9%
	エッジコンピューティング	75	90	+21%
	コア営業利益	278	270	-3%
ライフサイエンス	売上収益	1,265	1,425	+13%
	CDMO		700	
	CRO		315	
	BPM		55	
	IVD		355	
	コア営業利益	84	160	+89%
合成樹脂	売上収益	958	1,075	+12%
	コア営業利益	19	40	+116%
その他・調整額	売上収益	162	170	+5%
	コア営業利益	-41	-50	+23%
Exchange rate (USD/JPY)*3		135	135	-0%

(億円)

	FY22 Act	FY23 Pro	FY22 vs FY23 Pro
減価償却費 *1	284	320	36
資本的支出 *2	442	370	-72
研究開発費	270	300	30

*1 FY22Act/FY23 ProはIFRS16号によるリース資産償却を含む。含まない場合、FY22Actは254億円。

*2 検収ベース

*3 為替前提：FY23Proの為替は足元の想定レートを使用。為替感応度は1円円安で5億円程度の影響を見込む。

※親会社所有者帰属利益を除き継続事業のみ表示

CDMO: バイオ医薬品の開発・製造受託

CRO: 医薬品の開発受託

BPM: バイオプロセス材料

IVD: 診断試薬材料

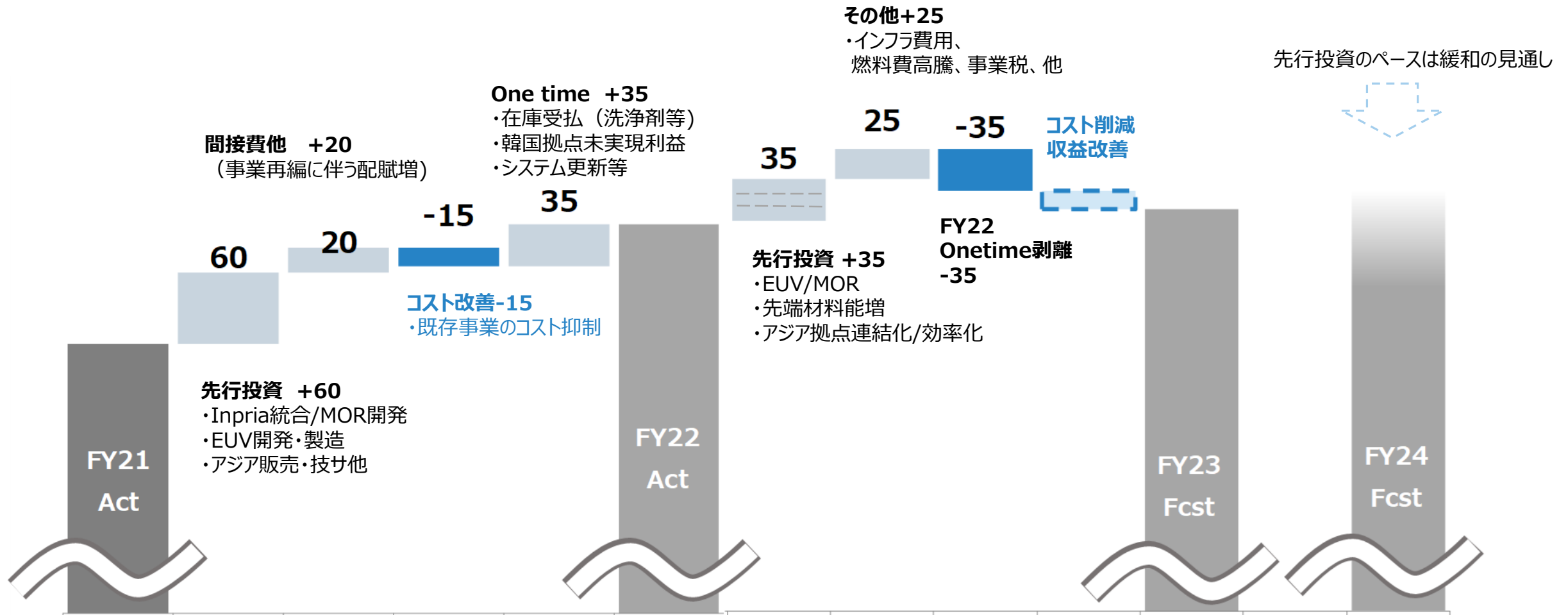
4. 経営環境 FY23の見通し

	FY23 見通し	事業環境		FY24見通し
		H1	H2	
SEMI	<p>当面は調整局面。需要回復期のV字成長へ向けシェア拡大、投資強化、構造改革を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> • EUVはシェアが拡大(3nm以下、DRAM)。MORの立上げも良好。他材料も競争ポジションは良好。 • EUV/MOR等先行投資は継続もFY23は当面のピーク。FY24の投資幅は縮小見通し。 • 米洗浄剤事業の大幅縮小も当社の成長ストーリーは変更なし。その他アジア拠点統合を含む構造改革を進める。 			
DISP	<p>市場回復、売上利益増</p> <ul style="list-style-type: none"> • 市場は回復基調継続、損益は改善。 • 光配向膜、OLED材料はシェア拡大が確実。FY23の売上利益増に折り込む。 			
EC	<ul style="list-style-type: none"> • 対面市場の改善は限定的も回復基調。 • シェア拡大は達成。その他コスト縮減による損益改善を確実に進める。 			
LS	<p>需要は堅調。更にKBIの稼働拡大効果を見込む</p> <ul style="list-style-type: none"> • KBIはコロラド工場修繕完了（5月）。ノースカロライナ新工場は下期にフル稼働へ。FY24に向けては通年でフル稼働寄与。更に構造改革を実行しFY24にOP率を20%まで改善させていく。 • MBL抗原検査キットは受注確定分について計画に折り込む（下期の計画）。 • CROは一部需要減速を想定するが、新規CROビジネスが事業群に追加。成長継続。 			
PLA	<ul style="list-style-type: none"> • 自動車販売回復による販売増を見込む。売買スプレッドも改善方向。 			
その他	<ul style="list-style-type: none"> • FY22並みに抑制。DX投資は加速させる。 • 各セグメントの製品ラインについて収益性の観点で見直しを行う。 			

4. 業績見通しに関する市場前提

	FY22実績	FY23見通し	FY24見通し
為替 (USD/JPY)	135	135	-
シリコンウエハインプット (YoY)	+/-0%	-5%	+14%
パネルメーカー稼働率 パネル生産 (YoY)	71% -19%	78% +12%	83% +8%
スマホ出荷台数 (YoY)	-9%	+3%	+4%
グローバル自動車生産台数 (YoY)	+8%	+5%	+4%
バイオ医薬品市場 (YoY)	+8%	+7%	+9%

5. 半導体材料事業：固定費推移



*FY21特殊要因(Inpria評価益+75億円、米国洗浄剤工場の減損-38億円)を除く。

*参考値:CER(Constant Exchange Rate/恒常為替レート、為替影響を除いたもの。)

5. ライフサイエンス事業：KBI新工場 生産計画の進捗

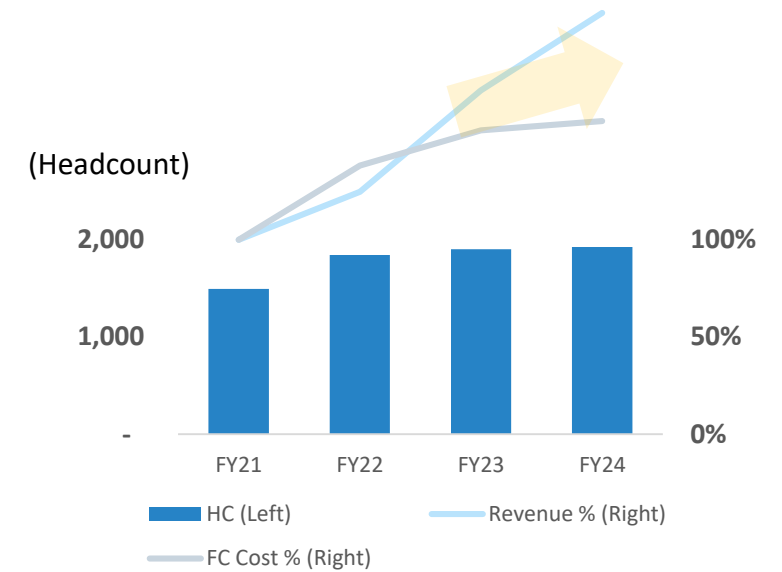
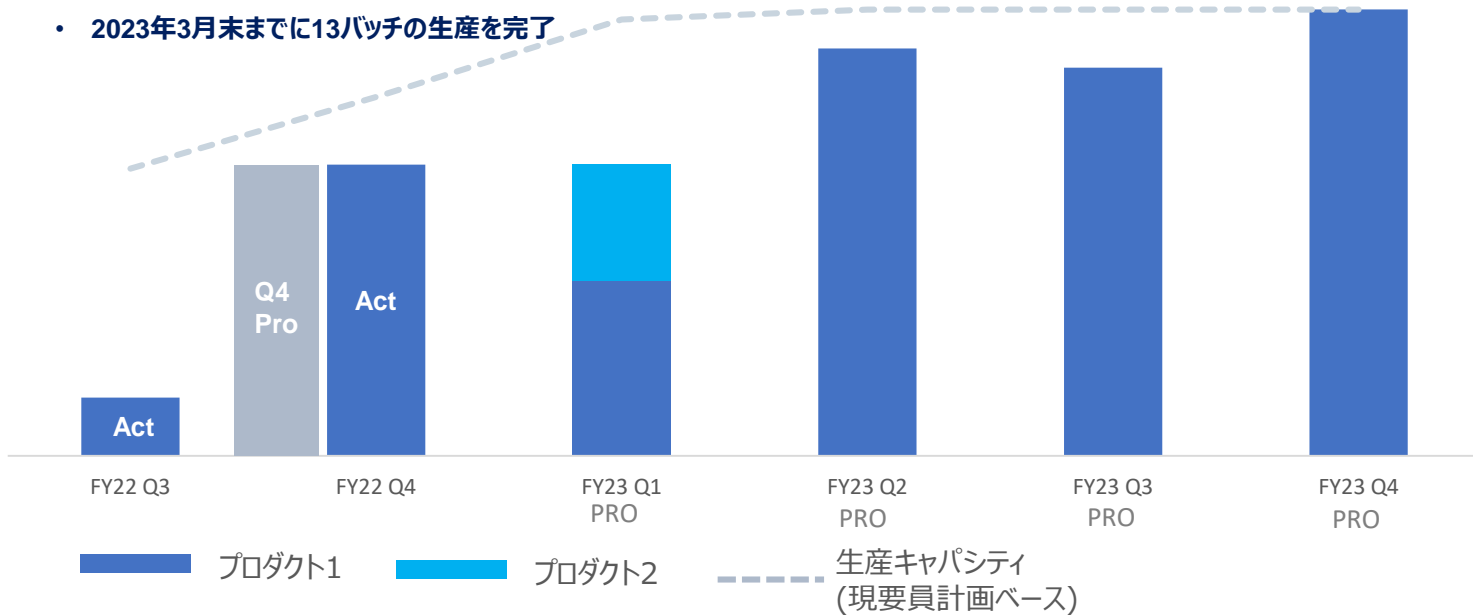


ノースカロライナ新工場：
FY23Q4のフル稼働(現要員計画ベース)に向けて順調に稼働拡大

KBI全体：収益改善プロジェクト
売上拡大とコストコントロールの強化

of batch started in each Q/Utilization

・ 2023年3月末までに13バッチの生産を完了



* Percentage when FY21 is 100%

* 上記生産計画は随時見直しているため、変更が生じる。前回から大きな変更はなし。

* 2023年4月時点。

6. 中期経営方針

Vision

- 持続的(**Sustainable**) 成長を目指し、すべてのステークホルダーに価値を創造する
- あらゆる環境変化に適応する強靱な(**Resilient**)組織を作る

事業ポートフォリオ

コア事業

デジタル × ライフ
ソリューション × サイエンス
(特に半導体材料)

- **SEMI**
市場を上回る成長。
M&Aも選択肢として
事業拡大。
- **DISP**
事業最適化。
利益成長への移行。

- 売上高 1,000億円超
ROS 20%を達成。
- グループ全体のシナジー
強化により持続的成長
を実現。

事業目標 (FY24)

ROE

10%以上

Core OP

最高益更新

600億円以上
デジタルソリューションおよび
ライフサイエンス

組織体制

**強靱な
(Resilient)
経営基盤**

イノベーション

デジタル化

ESGコミットメント

従業員エンゲージメント

6. 中期経営方針 – 進捗

進捗		
ビジョン	事業ポートフォリオ	<ul style="list-style-type: none"> • コア事業への戦略的投資を強化（2022年4月1日、エラストマー事業譲渡完了）。 • 2022年12月CRO分野の買収（前述、FY21は半導体分野のInpriaを買収）。
	事業目標 (FY24)	<ul style="list-style-type: none"> • 目標変更なし：FY24の最高益600億円の更新。ROE10%以上。 • OP率の改善を確実に進める(DS:23%、LS:20%ターゲット)。 • 短期的需要悪化に対応する基盤強化。
	組織体制	<ul style="list-style-type: none"> • サステナビリティKPIを設定し、GHG排出量削減や従業員エンゲージメントの向上、DE & Iの施策を推進。 • 戦略投資継続、DX等将来の利益拡張への投資。
	資本配分	<ul style="list-style-type: none"> • 増配（60円→70円）と自社株買い（約300億円）を実施済。 • 資本配分方針に変更なし。足元は営業CF改善にも注力。
事業戦略	デジタルソリューション事業	<ul style="list-style-type: none"> • 最先端LogicでのEUVシェア拡大が進展、Inpria統合によるMORビジネスも順調に拡大。 • SEMI：中期的シェア拡大への礎が整う。EUV、MORの開発強化、営業技サ体制強化を実施（台湾、中国、韓国等）。洗浄剤の事業規模縮小と構造改革。 • DISP：拠点統廃合と最適化を実施済。市場は回復方向。OLED等新材料の展開に注力。 • 短期的な市況悪化に対応し、収益改善、コスト削減を推進。
	ライフサイエンス事業	<ul style="list-style-type: none"> • KBI新工場の稼働拡大に最注力 → FY23の最大利益拡大ドライバー。FY24も利益を牽引。 • 売上高1,000億円はFY22に達成済み。売上成長は順調。OP率目標20%達成へ向け効率性改善に最大注力。 • CRO分野の事業ポートフォリオを追加。ユニークな事業群を当社LS事業の強みとしていく。

*MOR:メタルオキシドレジスト

【APPENDIX】FY22実績 vs 計画



(億円)

		FY22 Act	FY22 Pro (as of Feb.6)	Act vs Pro +/-
連結	売上収益	4,089	4,110	-21
	コア営業利益	340	340	0
	営業利益	294	345	-51
	親会社所有者帰属利益	158	240	-82
デジタルソリューション	売上収益	1,704	1,705	-1
	半導体材料	1,264	1,270	-6
	ディスプレイ材料	366	360	6
	エッジコンピューティング	75	75	-0
	コア営業利益	278	280	-2
ライフサイエンス	売上収益	1,265	1,290	-25
	コア営業利益	84	90	-6
合成樹脂	売上収益	958	960	-2
	コア営業利益	19	18	1
その他・調整額	売上収益	162	155	7
	コア営業利益	-41	-48	7
	Exchange rate (USD/JPY)*3	135	135	0.5

(億円)

	FY22 Act	FY22 Pro (as of Feb.6)	Act vs Pro +/-
減価償却費*1	284	235	49
資本的支出*2	442	360	82
研究開発費	270	255	15

*1 FY22ActはIFRS16号によるリース資産償却を含む。含まない場合、FY22Actは254億円。

*2 検収ベース

*3 為替前提：為替感応度は1円円安で5億円程度の影響を見込む。

【APPENDIX】連結損益計算書



(億円)

	FY21	FY22	YoY
売上収益	3,410	4,089	+20%
売上原価	2,149	2,658	+24%
売上総利益	1,261	1,431	+14%
販管費	873	1,098	+26%
その他の営業収益/費用	49	-40	-
持分法による投資損益	2	1	-47%
営業利益	438	294	-33%
金融収支	18	5	-73%
法人所得税	84	134	+60%
継続事業からの当期利益	372	164	-56%
非継続事業からの当期利益	23	-	-
当期利益	394	164	-58%
親会社所有者帰属	373	158	-58%
非支配持分	21	6	-70%

EPS(JPY)	173.49	75.56	-56%
EPS - 継続事業 (JPY)	162.52	75.56	-54%
EPS - 非継続事業 (JPY)	10.97	-	-

Exchange rate(USD/JPY)	112	135	+21%
------------------------	-----	-----	------

コア営業利益から営業利益までの調整

(億円)

	FY21	FY22
コア営業利益	433	340
減損損失戻入	13	-
関係会社株式売却益	3	-
事業構造改革費用	-	-90
段階取得に関わる差益	-	34
固定資産売却損	-	-2
子会社出資金評価損	-14	-
子会社株式売却益	-	10
その他	2	1
営業利益	438	294

【APPENDIX】連結財政状態計算書



(億円)

	22/3E	23/3E	+/-
流動資産	4,370	2,993	-1,377
現金及び現金同等物	456	726	+271
営業債権及びその他の債権	761	788	+27
棚卸資産	1,049	1,184	+135
その他	191	294	+103
売却目的保有に分類される処分グループに係る資産	1,913	0	-1,913
非流動資産	3,724	4,153	+429
有形固定資産	1,595	1,696	+101
のれん	1,176	1,529	+352
その他の無形資産	246	278	+32
その他	706	650	-56
資産 合計	8,094	7,146	-948
流動負債	2,883	1,818	-1,065
営業債務及びその他の債務	635	796	+161
社債及び借入金	692	625	-67
その他	400	396	-3
売却目的保有に分類される処分グループに係る負債	1,156	0	-1,156
非流動負債	1,064	1,519	+455
社債及び借入金	487	957	+469
その他	576	562	-15
負債 合計	3,946	3,336	-610
親会社の所有者に帰属する持分	3,760	3,555	-205
非支配持分	387	254	-133
資本 合計	4,147	3,809	-338

FY22の資本政策TOPICS

- 約300億円の自社株買いを実施。
- 約1,773万株の自己株式を消却。
(消却前の発行済株式の総数に対する割合；8%)
- 約150億円の配当金支払 (FY21に増配)。
- 約250億円の社債発行。
- 約500億円の事業譲渡関連収入。
- 資本的支出、等。

Net Debt

(現金及び現金同等物 - 有利子負債)

2022/3E：約720億円
2023/3E：約860億円

自己資本比率

(親会社所有者持分比率)

2022/3E：46.5%
2023/3E：49.8%

資本配分の基本方針

1. M&Aを含めた成長のための事業投資 (SEMI, LS中心)
2. 事業投資に柔軟に対応できる強靱な財務ポジションの維持
3. 50%程度を目安とした株主還元

※継続、非継続両事業を表示

【APPENDIX】連結CF計算書



(億円)

	FY21	FY22	YoY +/-
営業活動によるCF	183	293	110
税金等調整前当期純利益	489	298	-190
減価償却費	225	284	59
運転資本増減額	-489	-84	405
その他	-42	-206	-164
投資活動によるCF	-631	-40	591
設備投資	-468	-288	181
子会社株式取得	-473	-231	242
子会社又は関連会社株式売却	152	512	360
その他	159	-33	-192
FCF	-448	252	701
財務活動によるCF	230	-152	-382
自己株式取得	0	-301	-301
配当金支払	-151	-156	-5
その他	381	305	-76
現金及び現金同等物に係る為替換算差額の影響額	-15	6	22
現金及び現金同等物増減	-234	106	340
現金及び現金同等物の期首残高	854	456	-398
売却目的保有に分類される処分グループに係る現金同等物	-164	164	328
現金及び現金同等物期末残高	456	726	271

【APPENDIX】 四半期推移



(億円)

		21Q1	21Q2	21Q3	21Q4	FY21	22Q1	22Q2	22Q3	22Q4	FY22	Q4 YoY	Q4 YoY (CER)*	FY YoY	FY YoY (CER)*
連結	売上収益	823	859	884	844	3,410	933	1,040	1,157	959	4,089	+14%	+7%	+20%	+10%
	コア営業利益	126	105	192	10	433	62	107	146	25	340	+147%	+76%	-21%	-46%
	営業利益	111	117	192	17	438	73	104	145	-29	294	-272%	-	-33%	-
	親会社所有者帰属利益	82	94	178	19	373	57	90	48	-38	158	-299%	-	-58%	-
デジタルソリューション	売上収益	393	413	427	417	1,650	429	477	445	354	1,704	-15%	-21%	+3%	-6%
	半導体材料	261	268	292	282	1,103	305	377	330	252	1,264	-11%	-17%	+15%	+2%
	ディスプレイ材料	111	125	110	113	459	104	80	96	86	366	-24%	-27%	-20%	-25%
	エッジコンピューティング	21	21	25	22	88	20	20	19	16	75	-28%	-28%	-16%	-16%
	コア営業利益	104	91	167	27	390	77	108	82	11	278	-59%	-113%	-29%	-57%
	コア営業利益率	27%	22%	39%	6%	24%	18%	23%	18%	3%	16%	-	-	-	-
ライフサイエンス	売上収益	163	174	196	191	725	227	287	416	334	1,265	+75%	+62%	+75%	+58%
	コア営業利益	12	8	19	-7	32	0	7	60	18	84	-362%	-296%	+167%	+184%
	コア営業利益率	7%	4%	10%	-4%	4%	0%	2%	14%	5%	7%	-	-	-	-
合成樹脂	売上収益	238	240	229	199	906	228	229	266	236	958	+18%	+14%	+6%	+0%
	コア営業利益	19	16	16	3	53	-5	4	14	6	19	+110%	+110%	-65%	-65%
	コア営業利益率	8%	7%	7%	1%	6%	-2%	2%	5%	2%	2%	-	-	-	-
その他・調整額	売上収益	29	32	32	36	129	49	47	30	36	162	-0%	-0%	+25%	+25%
	コア営業利益	-9	-10	-10	-13	-42	-10	-12	-10	-9	-41	-27%	-121%	-3%	-106%
Exchange rate (USD/JPY)		109	110	114	116	112	130	138	142	132	135	+14%	0%	+21%	0%

※コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出

※親会社所有者帰属利益を除き継続事業のみ表示

※FY21はInpria買収の評価益 +75億円、米洗浄剤工場の減損 -38億円を含む。

FY23 Q1
決算発表

2023年8月7日

同日、金融機関向け説明会を実施予定

※上記の予定は、都合により予告なく変更となる可能性があります。

- 本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。